

令和 7 年度指定管理者導入施設に対する事業評価書

1 施設の概要

施 設 の 名 称	君津市里山管理センター	作成年月日	令和 8 年 5 月 1 3 日
所 在 地	君津市小香 3 5 9 番 1	所 管 課	建設部 農林土木課
設 置 目 的	都市生活者が自然の中で里山に親しみ、里山に対する理解を深めるとともに、都市生活者と地域住民との交流を促進する。		
利用対象者等	公の施設であり特に制限は設けていない。		

2 指定管理者の概要

所 在 地	君津市小香 3 5 9 番 1
名 称	三舟の里コミュニティ活動推進委員会
代 表 者	齊藤 淳
指 定 管 理 業 務 の 内 容	・使用の許可等に関すること。（管理センターの許可・不許可・許可の取り消し） ・使用料の徴収に関すること。 ・施設全般の管理運営に関すること。 （施設の開閉、建物内の清掃、周辺の手入れ、備品等の管理、点検及び軽修理等） ・施設及び付属設備の維持管理に関すること。 （清掃業務、警備業務、浄化槽維持管理業務、消防設備保守点検業務） ・施設の利用等の促進 ・利用者に対する施設及び道路及び周辺観光案内 （当該施設を運営するに当たって、指定管理業務以外の経費があれば記入してください。） ・土地借上料 7 2 3, 9 2 8 円 ・AED賃借料 5 9, 1 3 6 円
経 営 状 況	良好
指 定 期 間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 1 0 年 3 月 3 1 日
選 定 方 法	1. 公募 2. 限定公募（ 設立目的の限定 ・ 市内に事業所等を有すること ） 3. 非公募

3 予算額等

単位 千円：人

	委 託 料		使 用 料 収 入		利用者数
	予算額	決算額	予算額	決算額	
令和6年度	4, 3 9 4	4, 3 9 4	7 0	6 9	4 2, 6 6 2
令和7年度	4, 6 8 0	4, 6 8 0	8 5	5 7	4 3, 4 7 0
令和8年度	4, 6 8 0		5 9		
(8年度)－(7年度)	0		－ 2 6		
増 減 理 由	なし		デッキ利用実績に合わせて見直したため		

4 評価項目

(1) サービス提供に関する評価

		指定管理者	所 管 課
		A：適正・行っている B：要改善・行っていない	
ア	サービス提供のための適正な人員配置	☐ A ・ B	☐ A ・ B
イ	利用者の意向に配慮した対応	☐ A ・ B	☐ A ・ B
ウ	利用時間等の遵守	☐ A ・ B	☐ A ・ B
エ	設備・備品の貸出し	☐ A ・ B	☐ A ・ B
オ	利用者等の安全確保	☐ A ・ B	☐ A ・ B
カ	利用承認、案内等の対応	☐ A ・ B	☐ A ・ B
キ	苦情等への対応と報告	☐ A ・ B	☐ A ・ B
ク	緊急時の対応マニュアルの作成及び研修	☐ A ・ B	☐ A ・ B
ケ	個人情報の保護	☐ A ・ B	☐ A ・ B
コ	地域、関係団体等との連絡調整	☐ A ・ B	☐ A ・ B
サ	自主事業などを積極的に行っている。	☐ A ・ B	☐ A ・ B
シ	指定管理者によるアンケートを行っている。	☐ A ・ B	
		アンケートを行っていない場合はその理由（指定管理者） ()	
		指定管理者（評価の実施 （結果の掲示	☐ 有 ・ 無 ） ☐ 有 ・ 無 ）
		所管課 （評価の実施	☐ 有 ・ 無 ）

改善を要する項目がある場合の具体的内容	
(指定管理者)	
(所管課)	
利用者等からサービス提供に関して意見や苦情等があった場合は、具体的に記入してください。	
(指定管理者) 君津駅から三舟の里案内所（三舟山）へバス路線が欲しい。電車利用者や免許返納者にとって1日2便でも助かる。近くに停留所を設けてコミュニティバスの運用をしてほしい。	
(所管課) ・指定管理者からの報告により把握している。	

(2) 施設等の管理に関する評価

		指定管理者	所 管 課
		A：適正 B：要改善	
ア	施設の保守管理	☐ A ・ B	☐ A ・ B
イ	設備機器等の安全確認	☐ A ・ B	☐ A ・ B
ウ	備品の管理	☐ A ・ B	☐ A ・ B
エ	清掃・警備・衛生管理	☐ A ・ B	☐ A ・ B
オ	指定管理者が行う修繕	☐ A ・ B	☐ A ・ B
カ	省エネ、省資源等の環境への配慮	☐ A ・ B	☐ A ・ B

キ	施設等の管理記録	☐ A ☐ B	☐ A ☐ B
改善を要する項目がある場合の具体的内容			
(指定管理者)			
(所管課)			
利用者等から施設等の管理に関して意見や苦情等があった場合は、具体的に記入してください。			
(指定管理者) ・案内所内の洋式トイレ増設（和式を洋式に交換） ・四阿とベンチの増設。（雨天時等、避難場所としても活用できるように） ・樹木と植物の名札を増やしてほしい（定期点検と古くなった名札の交換）			
(所管課) ・指定管理者からの報告により把握している。			

(3) 総合的な評価

		指定管理者	所 管 課
		A：行われている・努力している B：行われていない・努力していない	
ア	協定書や事業計画書の内容に沿った管理運営が行われている。	☐ A ☐ B	☐ A ☐ B
イ	管理経費の縮減や利用者の増加のための努力をしている。	☐ A ☐ B	☐ A ☐ B
ウ	毎月の業務報告及び年度の事業報告が、適正に行われている。	☐ A ☐ B	☐ A ☐ B
改善すべき点又は特に評価すべき点がある場合は、その内容等を記入してください。			
(指定管理者) ア、イ→・利用者の要望を汲み、本来の開所時間よりも早く駐車場を開けている。 来所される方が心地よく利用できるよう管理人は努めている。 ・「チャレンジカード」（＝スタンプカード）の利用推進は利用者にとって運動			

の動機づけになり、楽しみながら健康増進に取り組んでいる。 イ→・来所（登山）者＝常連さんの中には、ボランティア活動を通して、三舟の里・三舟山の環境保全、PRに積極的に寄与してくださる方々がいる。具体的には、清掃・自然保護活動、登山道整備や危険箇所修理、除草や花壇整備、三舟山の自然を撮影し写真掲示やポスター作成など。開所以来継続している毎月の写真ポスター「三舟山だより」は、移り変わる三舟山の自然の美しさ・素晴らしさを紹介することにより、PR活動に大いに役立っている。（案内所事務室前と市役所1階ロビーに掲示） イ→・増加する利用者の「憩いの場」「癒しの場」とすべく環境の美化活動に積極的に取り組んでいるが、諸物価高騰の折、花の種や苗の入手に苦慮している。管理経費の削減が言われる中ではあるが、現状では与えられた予算を最大限活用することによって効果的な運営ができています。	
（所管課） ・利用者の要望を汲み、来所される方が心地よく利用できるよう管理人が努めている。	

5 事業報告書の内容についての検証

ア	事業報告書の検証（承認）	A. 施設等へ出向いて行った ☐ B. 書類上だけで行った
	施設等へ出向いて行った場合は、行った日時と人数 書類上だけで行った場合は、その理由（施設等へ出向いて状況を把握する必要が無い理由）	提出された書類と随時報告で確認しているため。
イ	事業報告書の内容	A. 問題点があった ☐ B. 問題点はなかった
	問題点があった場合は、その内容	

6 臨時の立入調査、指導等について

ア	令和7年度中に行った臨時の立入調査、指導等	A. 臨時の立入調査、指導等を行った ☐ B. 臨時の立入調査、指導等は行っていない
---	-----------------------	---

	臨時の立入調査、指導等を行った場合は、その内容 行わなかった場合は、その理由 (必ず記入してください)	特に問題がなかったため
イ	令和7年度中に行った業務改善勧告等	A. 業務改善勧告等を行った ☐ B. 業務改善勧告等を行わなかった
	業務改善勧告等を行った場合は、その内容	

7 今後の取組方針等

施設の管理・運営に当たっての今後の取組方針等について記入してください。
また、事務に当たっての検討事項や提案事項を記入してください。
(必ず記入してください)

(指定管理者)

- ・「三舟の里案内所」周辺、ならびに「三舟山」の景観や遊歩道を散策することの良さを味わい、また、健康・体力向上等を目的に常連の来所者が定着している。さらに、新規来所者も増加し、県外ナンバーの車もよく見かけるようになってきた。

そこで、施設や環境の維持・管理に今まで以上に注力し、「憩いの場」「癒やしの湯」「健康づくりの場」として、この環境を生かす活動をしていきたい。

活動推進委員会全員による遊歩道の巡回（安全環境点検）や、年4回の棚田・駐車場周辺の草刈り作業等で環境美化・安全の維持・管理に今後も務めていく。

しかし、来所者数の増加とともに発生する問題（ルールを守れず自然環境を大切にできない人や自己中心的な要求（苦情）を言い出す人への対応）にも取り組まなくてはならない。市の観光案内で「三舟の里」のすばらしさをPRして頂くだけでなく、自然の宝庫である「里山」を次の世代に残していくためにも、来所者に、ルールを守り大切にしていこうという意識を育てていく方策を考えたい。

来所者（常連さん）の中には、積極的にボランティア活動を通して「三舟の里」「三舟山」の環境保全、PR活動に寄与してくださっている方々がいる。このような方々とともに、「皆に愛される三舟の里」を創っていきたい。

(所管課)

- ・都市生活者が自然の中で親しみ、里山に対する理解を深めるとともに、都市生活者と地域住民との交流を促進することを目的に、今後も施設の管理・運営にあたり、直接施設へ足を運び状況を把握するとともに、指定管理者による管理意識の向上に努めてもらうよう指導していく。

- ・休耕田の活用など、地元の団体であるから実施できる事業も今後とも続けるよう働きかけたい。